



国立大学法人

九州工業大学

応用ソフトウェア開発支援士 プログラム

未来のキャリアに自信を。DXを支えるITの実践的な学び。

履修資格	大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められる方 注意) 本講座の授業は、独立行政法人情報処理機構の定めるITSS（ITスキルレベル）レベル1～2程度の知識とスキルを持つ受講生を想定して作られています。 申し込み後に行う個人面談にて、受講生の知識・スキルレベルの確認を行い、受講科目についてのアドバイスをを行います。
定員	50名
受講料	1科目：44,000円（税抜き40,000円）
募集期間	2023年11月～2023年12月24日
受講期間	2023年12月～2024年3月11日 ※一部1月開講講座あり
内容	理工系人材に対して ・IT産業への転職および新規採用を促進する基礎教育 ・企業のDX化を推進するための人材育成 を目的としたプログラムで構成されています。 ※学習期間は4か月間とします。各科目の内容は裏面を参照ください
修了要件	指定の4科目において一定以上の成績を修めた受講生には修了した証明として九州工業大学の「応用ソフトウェア開発支援士」の称号を授与します。
特徴	(1) 履修証明「九州工業大学 応用ソフトウェア開発支援士」が得られます。 (2) 受講の場所、時間、ペースを自由に設定できます。 (3) 申し込み後に科目選択や履修資格のアドバイスをを行います。

お申し込みは九工大HPから



九工大HP内にある応用ソフトウェア開発支援士プログラム紹介ページの最下部のお申し込みフォームよりご登録ください。

九工大 応用ソフトウェア開発支援士



応用ソフトウェア開発支援士 開講科目

【基礎科目】

- ・ 基礎から学べるCプログラミング*
- ・ 基礎から学べるPythonプログラミング*
- ・ IoT時代の組み込みプログラミング
- ・ 実践演習・APIを活用したソフトウェア設計

*選択必修科目のため「基礎から学べるCプログラミング」もしくは「基礎から学べるPythonプログラミング」いずれか1科目を選択

【情報スキル系科目】 ※2024年1月開講

- ・ データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用
- ・ ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎
- ・ 基礎から学べるスマートコントラクト開発

選択必修科目のためいずれか1科目を選択

～各科目のシラバスは九工大HPをご覧ください～

FAQ

受講料をクレジットカードで支払うことはできますか？

→受講の納入方法につきましては、郵便局からのお振込のみとなっております。
何卒ご了承ください。

スマートフォンで受講できますか？

→PCでの受講を前提としています。スマートフォンでの受講はご遠慮ください。

受講にあたり準備が必要なものはありますか？

→開発PC、ネットワークおよび一部科目で、各自ご準備が必要な機材があります。
詳しくはHPをご確認ください。

※先着順で機材の貸出あり（個人面談時にご相談ください）

◆お問合せ◆

国立大学法人九州工業大学

キャリアオーナーシップ課 リカレント・リスキル教育推進係

[MAIL:co-recurrent@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:co-recurrent@jimu.kyutech.ac.jp)